



完成した新研究講義棟

るため、生涯学習体系への移行を図り、市民の多様な学習活動を支援する体制を整え、長寿対策の推進等社会教育事業の振興に努め、市民が生涯のどの時期においても必要な学習が出来るような社会の実現を目指します。

また、市民の文化への志向は、これまでにならぬほど高まりを見せています。

このような状況から伝統文化を継承しつつ、広い視野に立って新しい芸術文化の創造発展を図りたいと思います。

また、次代を担う青少年の健全育成は、文教都市都留市にとってかかすことのできないものです。昨年夏休みを利用して、国民体育大会の同種目の開催地としての縁で知り合った沖縄県西原町から、町長を団長とした、年少少女交流団が本市を訪れ、市内の小・中学生と都留市の歴史文化の勉強会・自然観察・キャンプファイヤーなどをを行い交流を深めました。西原町は、県都那覇市に隣接し

ているコバルトブルーの海に面した、緑豊かなすばらしい環境の町で、昭和五十六年に那覇から国立琉球大学が移転したのを契機に、「文教のまち」へと変貌しています。

山と海という違いはありますが、すばらしい自然に恵まれ、互いに大学を核とした「文教都市」であるという共通点をもっています。毎年交互に交流団を派遣しあい両

市の歴史や文化にふれ、友情と連帯の精神を養い、夢と希望、自信と勇気ある青少年の育成のために、息の長い交流をしていきたいと思えます。

## 農林業の振興

社会的、経済的環境の変化により、農業の振興は一段と厳しさを増してきています。

これからの農業は、農業者自身が問題を認識・協議し、課題解決へ向けて農業者の意向を農業施策へ直接反映出来る体制づくりが必要とされてきています。

こうした中でこれからの地域産業の振興を図るため、農村総合モデル事業、山村振興農林漁業対策事業、土地改良事業等による農業施設の整備を推進します。また、農業生産の活性化と農地の有効利用を図るため、漬け物工場との提携による漬け物野菜の栽培等特産の里振興事業を推進します。一昨年オープンしたサンパーク

また、大行列の出演の縁で知り合った、東京都板橋区との交流につきましても、歴史や文化遺産を紹介してのふるさと交流を続けていますが、より幅広い充実した交流とするため、ママさんバレーボール、ゲートボール、少年野球等のスポーツ交流も行い、ふるさと交流を深めてまいります。

体育の面でも、生きがいづくり、仲間づくり、健康づくりを目指しスポーツの一層の推進を図り、市民の生涯スポーツの向上に努めるための各種スポーツ教室・大会を開催し、明るく豊かで活力ある生活づくりに寄与したいと思えます。

都留も一年間の運営経過を見ると、利用者も伸び、多目的広場としての機能も発揮されています。

今後はさらに地元民宿等との連携を図りながら利用率の向上と地域の活性化を図っていきます。

林業の振興につきましても国産材の需要増大に備えて、基盤事業である林業構造改善事業等の実施により、林道網の整備、森林施業の経営指導を行う一方、東部地域における県産材時代に備えるため、生産から加工流通に至る一貫した地元材の安定供給を行うため、森林業者・建築業者などで構成された富士・東部材産地協議会と連携し、産地形成の推進を図ってまいります。

## 商工業・観光の振興

市発展の根幹をなす商工業の振興につきましても、地域商業の活性化・優良企業の誘致を積極的に行い、地場産業との総合的な振興を推進いたします。

また、商工会及び商工業者の組合・団体の組織強化、小売商業・地場産業の振興、企業の集団化、商店街の近代化のための共同店舗化などを促進し、産業の活性化に努めます。

繊維産業振興につきましても、織物産地振興協議会を中心に新製品の開発・販路開拓・市場調査・展示会への出展等、業界の発展を促進いたします。

戸時代における特色的な行事であった「お茶つば道中」の再現を検討しています。

現在、勝山城址に実在したと伝承されるお茶つば蔵の発掘調査を進めています。その結果により茶蔵の復元を行い、観光資源づくり、観光の名所としていきたいと考えています。

なお、「やまなしの歴史文化公園つる」に指定された勝山城址を中心に、貴重な歴史資産や自然景観を保全活用し、歴史や文化、自然に親しみ、ふれあうことのできる憩いの場づくりを行います。



茶つば蔵の発掘調査



歴史公園に指定された城山

観光面につきましては、八朔祭りのイベント「大行列」に、江

以上、年頭にあたり抱負を申し述べましたが、市民総参加、対話の市政を引き続き推進し、水と緑のやすらぎの中に活力ある都市を目指して全力を上げ取り組んでまいりる所存であります。

市民の皆様の一層のご支援、ご協力をお願いして、新年のごあいさつといたします。